

2026年3月24日

あづま会会員各位

学校法人東京家政学院
理事長 吉武 博通

学校法人東京家政学院と学校法人法政大学の連携強化について

学校法人東京家政学院は、学校法人法政大学との間で築いてきた協力関係を強化し、少子化や18歳人口の減少という厳しい環境のなか、共に長い歴史を有する伝統校として、それぞれの強みを活かしながら、連携して発展を目指していくことになりました。

これにともない、東京家政学院中学校・高等学校を、これまで通り学校法人東京家政学院が設置する学校とした上で、2027年4月に校名を「法政大学千代田三番町中学校・高等学校」(予定)に変更し、法政大学の系列校とします。また、今後適切な時期に男女共学化することも検討したいと思えます。

本校は、2000年代に入ってから入学者数の減少が続き、ここ数年は回復も見られ、文部科学大臣賞の受賞、様々な分野での生徒の活躍など、誇るべき成果も現れていますが、施設・設備などの環境を整え、教育内容を一層充実させていくためには、学校自体を大きく変えていく必要があります。

法政大学とは、千代田区と町田市の近接地にキャンパスを有する大学同士として連携してきました。また、本学院のKVA精神と法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」は根本において理念を共有していると考えています。今後は、法政大学との間で中学・高校・大学連携の取組みを充実させ、法政大学への進学の間でも連携を強化することにします。

東京家政学院中学校・高等学校に期待して入学された2026年度入学までの生徒の皆さんには、これまでと同じカリキュラムで、本校の特色であるきめ細やかな教育を続けていきます。さらに、法政大学との連携が生徒の皆さんへのより豊かな教育機会の提供につながるように、これから一年をかけて十分な準備を行ってまいります。また、施設・設備面での環境改善も進める予定です。

その陣頭指揮をとってくださるのが、この3月末で任期満了を迎える佐野金吾校長の後任の和仁達郎先生です。和仁先生は法政大学女子高等学校で校長を務め、共学化・改称した現在の法政大学国際高等学校でも校長を務められた、豊富な経験を有する方です。

学校名は変わりますが、今回の連携により本校開校以来の歴史は、未来に向かってさらに続くこととなります。同窓会組織も同様です。

あづま会の皆さまにおかれましては、このたびの連携に対してご理解いただき、本学院及び本校への変わらぬご協力をお願い申し上げます。